

第17回 みんなで語ろう！ ～いなむら市長とともに 車座集会～

<テーマ型：マナーについて考えよう>

と き	平成 26 年 7 月 15 日（火） 午前 10 時～11 時 30 分
と ころ	開明庁舎（中央支所） 2階 コミュニティホール
参加者等	参加者 9人 市長ほか関係者 8人 合計 17人

1 車座集会の概要及び本日の進行スケジュールについて説明（職員）

2 市長からの説明

資料「マナーに関する意見」に基づき説明。

平成 25 年度中にまちづくり提案箱に寄せられた声の中で、マナーに関するものをまとめたもので、自転車マナーに関するものが一番多く、主な内容としては、放置自転車や違法駐輪に関するものあるいはスマホ片手に猛スピードで走行する事例などが挙げられる。

続いて、歩きタバコやポイ捨てなどの喫煙マナーに関するものが多くある。

他にも、ペットに関するマナー、公園の利用マナーに関する意見が寄せられている。

資料「尼崎市で設置されている条例」に基づき説明。

「空き缶等の散乱防止に関する条例」では、空き缶、たばこ等のポイ捨てを禁止している。タバコのポイ捨て定点観測の結果からも、過去に比べるとポイ捨ての数もかなり減少しており、また、定期的なクリーンキャンペーンの実施などで、かなり街がきれいになったと感じている。

「自転車等の放置の防止に関する条例」では、放置自転車の撤去、保管等に取り組むことが規定されている。また、場所によっては、駐輪場不足が原因と考えられるので、新たな駐輪場の確保にも取り組んでいく。

3 市民と市長との対話

- ・ 阪神尼崎で清掃をしていたら、目の前でポイ捨てをされた。
- ・ 自転車駐輪場に入れなくて店の前に置くから通行の妨げにもなるし、注意をすれば、少しだけだからいいでしょと言り返される。
⇒ 不法駐輪は、迷惑かけているのも市民、迷惑かけられているのも市民。キャンペーンなど様々な取組をする必要がある。
また、注意をしても聞かない人がいることについては、後押しとなる条例を設けるのも手段の一つとしてある。
- ・ 駅の地下道（JR 尼崎、立花など）や、道路と JR の交差する地下道などを、自転車で乗ったまま走行する人が多く、危ない。
- ・ 自分の子どもで無い限り叱らない大人がおり、また、両親が共働きで子どもに注意する機会がないことも問題である。
⇒ 子どもが見ている前で大人が信号無視をするなど、ルールを破っており、またそれを子どもは見ている。まずは大人がルールを守るよう呼びかけを行う必要がある。
- ・ 教育の立場に立った者が、まず、交通ルールや条例を十分に知っておく必要がある。
⇒ 期待としては当然で、生徒指導の先生も頑張っている。また、学校で教え、子どもから大人に呼びかけをするのもいいかもしれない。
- ・ ポイ捨てに罰則規定を設ける場合、たばこ税による収入が落ちることが懸念されるがどう考えているか。
⇒ たばこ税による収入よりも、たばこの健康被害の治療にかかる医療費のほうが膨大である。みんなが喫煙をやめて、健康になったほうが支出は減ると考えている。
⇒ たばこを吸っている人をやめさせることは難しいので、これから吸っていない人に吸わせないようにすることが大切である。
- ・ たばこを吸っていた中学生に優しくやさしく「タバコ吸っていいのかなあ～、からだに悪いよ！」と注意したら素直に聞いていた。言い方によっては注意も聞いてくれるんじゃないか。
⇒ 厳しく言える人、優しく言える人いろんな人が地域にいたらいいと思う。また、今は、非常に声掛けがしにくい時代になったため工夫が必要である。
- ・ たばこは親のしつけが大事である。
⇒ 親に対して働きかけていく必要はあるが、家庭だけでは解決しない事例もある。
市では、警察との連携を密にしているが、少しでも気になったら、相談してほしいといわれているので、素人で声をかけるのが怖い場合は、ぜひ警察へ連絡してほしい。
- ・ 少年補導委員をしているが、今、中学校ではプライバシーの問題などで、持ち物検査ができなくなっている。そのためサバイバルナイフを持っていてもわからない状態である。
また、先日も試験中に制服を着た高校生がタバコを吸っていたので注意したかったが、少年補導委員は3人一組でないと注意できないことになっている。
- ・ 子どもに何かあったら子ども本人ではなく親を罰すべきだと考える。
⇒ 大人としての社会性を十分に身に付けずに親になってしまった人もいる。そこに地域で働きかけをしていく必要がある。
すべてを一気に解決することはできないが、一歩ずつ前に進めていかなければならない。

- ・ 公園で花火をすることについて、PTA で話し合い、コンビニなどで売らないよう要求したこともある。商売なので強制はできないが・・・。
- ロケット花火は、住宅地では危ないし、片付けもせず散らかしっぱなしである。
- ⇒ 花火とバーベキューは「ここだったらやってもいいよ！」という場所を作りたいという思いもある。
- やってはダメだということっそりやるので、ルールを決めたらいいのではないか。
- ・ 自転車マナーについて親子では、親の視点ではよく見られているが、子どもの視点でも見てみたらどうか。
- ・ 若いイケメン警察官を招いて交通ルールを教え、その後に園児や児童にポスターを書いてもらいそれを市営バスに貼る。その際に「～してはいけない。」と書けば誰も見ないので「～しよう。」と書くようにすれば良いのではないか。
- ⇒ 子どもにポスターや標語を作ってもらうのはいいアイデアだと思う。
- ・ たくさん人が通る場所は路上喫煙禁止区域にして違反者からは罰金を徴収すればよいのではないか。また、そこには灰皿の設置も必要である。
- ⇒ 駅前、通学路は歩きたばこ禁止にしたいと思っている。優先順位を決めてこれだけは守ろうという守れるルールの徹底を行いたい。
- ・ 昔は学校で自転車の正しい乗り方などルールを教えていたのに今はしていないようだ。
- ・ 自転車に乗っている小さい子が親の後について必死で走っており、周りを見ていないので怖い。
- ・ 自転車通学する学生のマナーも悪い。自転車用の免許証を作って持ってないと乗れないようにすればいいのでは。
- ⇒ 免許制度にして、違反を繰り返すようであれば免許を取り上げて自転車通学を禁止するのもよい。
- ・ せっかく自転車道を作っても。違法駐車により車道に出ないといけないから危ない。
- ⇒ 自転車道をつくることにより違法駐車が減少しているのは事実である。自転車道に駐車しないことを徹底していく必要がある。
- ・ 子どもにマナーを教えるのに教育委員会を使うか、警察を使うか・・・
- ⇒ 皆さんの話から、交通マナーを先生方に徹底することはすぐに取り組める。子どもたちに注意する立場である先生方を対象に警察官が指導することもいいと思う。
- ・ 子どもたちに教えて覚えてもらい、家に帰って親に教えるのもいいのでは。
- ⇒ 小学校低学年のうち生徒も先生のいうことをよく聞くので、そこでルールを徹底させるのもよいと思う。
- ・ 親の指導に関してはPTAを通してよいと思う。
- ・ マナーについても「喉元過ぎれば…」にならないよう、ずっと続けることが大切である。

最後に、たくさんのご意見ありがとうございました。中には、すぐに取り組める意見もありましたので参考にしたいと思います。